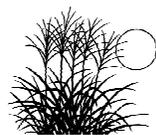


進路だより 9・10月号

三刀屋高校進路指導部
平成26年10月29日発行



☆10月2日(木) 大学入試センター試験に出願しました!



◆センター試験とは◆

出題されるのは、**6教科(国語・地理歴史・公民・数学①②・理科・外国語) 29科目**(たとえば、地理歴史教科の中に、世界史A・世界史B・日本史A・日本史B・地理A・地理Bの6科目があります。)があり、そのうち、**一人が受験できるのは、最大で6教科8科目(数学2科目・理科2科目)**です。国公立大学を受験するには、1次試験としてこの大学入試センター試験を受験する必要があります。さらに2次試験として、各大学による個別学力検査があり、その合計得点で合否が決まるのです。国公立大学入試の第1次関門であり、とても重要な試験です。また、ほとんどの私立大学でもこのセンター試験を入試に取り入れています。公立短期大学・私立短期大学でも利用するところが多いので、大学・短期大学進学を考える人は、多くの場合、まずこのセンター試験に挑戦することになります。

☆センター試験までのスケジュールについて

出願受付 : 9月29日(月)～10月9日(木)



確認はがき(出願受理通知)が本人に送付される(11月上旬)
氏名等に間違いがないか、各自で確認する



受験票等が送付される (12月上旬～中旬)



各自で受験票・写真票へ写真を貼付する(冬休み中)



大学入試センター試験受験 (平成27年1月17日(土)・18日(日))

この時期、多くの科目で授業時に使うセンター演習用の問題集の販売があります。(金額や販売日などは教科から事前にご連絡いたします)

センター試験受験時の宿泊について11月にご連絡します。費用等は申し込みに合わせて振り込んでいただくようになります。(昨年度は3万円でした) ご予定ください。

☆10月～11月の3年生模試の予定について

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 10月31日(金) 放課後～11月1日(土) | 進研駿台マーク模試 |
| 11月 2日(日) | 大学別模試(オープン模試)…希望者 |
| 8日(土) 放課後～ 9日(日) | 代々木ゼミマーク模試 |
| 15日(土) 放課後～16日(土) | 国公立代ゼミ記述 |
| 12月 5日(金) 放課後～ 6日(土) | 全統センタープレマーク模試 |
| 12月20日(土)・21日(日) | 北予備ファイナル(島根大学)…希望者 |

*大学別模試の詳細については希望者に別途連絡します。

☆ 1年生は「地域産業研究」実習(インターンシップ)に行きました!

10月15日(水)～17日(金)

1年生は上記の3日間、雲南市・奥出雲町・出雲市・松江市内の67の事業所にご協力いただき、「地域産業研究」実習を行いました。1学期から、地域産業の強みや弱みなどを考えることにより、より深く調べてみたいことや課題点をあげるなど、2学期の実習に向けて、課題意識を持って準備してきました。この3日間の活動により、「地域産業」の強みや弱みを実感し、さらに課題意識を高めたであろうと思います。また、自分自身の将来の見通しを考えるきっかけもつかんでもらいたいと思います。

～「地域産業研究」実習までの活動～

9月 3日(水) オリエンテーション、
研修先ごとの顔合わせ、
班長決めなど

9月10日(水) マナー講座

9月17日(水) 研修先への電話

(事前打ち合わせのためのアポイントメント)

9月24日(水) 研修先についてパソコンや資料で調べる。
質問する内容についての打ち合わせ。事前打ち
合わせについての確認。自己紹介シートの作成。

9月18日(木)～10月8日(水) 研修先との事前打ち合わせ。

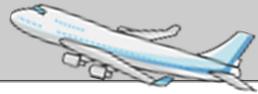
10月 8日(水) 事前打ち合わせの内容確認、最終確認。

10月14日(火) インターンシップ結団式

講師:加藤 節子 先生
(株)さんぼう専任講師
社会人と学生の違い、身だしなみやあいさつの仕方、
インターンシップへ向けての心構えなどについてお話
していただきました。



☆ 2年生は研修旅行に行きました！



10月13日(月)体育の日～16日(木)(17日(金)は代休)

2年生は上記の期間、東京方面へ研修旅行に出かけました。アスパルで結団式を行い、理系クラスが米子空港から、文系クラスが出雲空港から出発しました。「課題研究」として、4月当初から進路希望などを考慮してグループに分かれ、「総合的な学習の時間」などを使い、課題テーマ設定、研修内容や行動予定を計画・確認し、事前の調べ学習を行ってきました。研修先の面会予約なども生徒たちで行いました。

現在、2年生は、11月8日(土)の「課題研究」中間発表に向けて、研修したことをもとに、分析・整理・まとめなどの活動を行っています。地域や社会の課題に目を向け、それを解決するために、どうすればよいか具体的に考え、実践につなげてもらいたいと思います。



「地域創生」という言葉を安部首相が掲げ、これから地域の活性化や若者の活躍する場を設けることなどに力が注がれていくことになるようです。「地域課題」に目を向けて、それを解決していくためにどうすればよいか考えることは、本校の「産業社会と人間」や2年次以降の「課題研究」でも取り入れています。「地域課題」について考えるとき、地域だけに目を向けて解決の糸口が見つかるでしょうか。「地域課題」を考えることは、日本や世界の課題を考えることに通じている、という視点も忘れてはなりません。「ローカル」な視点と「グローバル」な視点は、どこかでつながっています。そのような両極端と思われる視点から、物事をとらえたり、課題テーマについて考えていくなど、多面的に物事をとらえることが、高校を卒業してからも必ず役に立ちます。実習や自主研修では、多くの体験をしたり、様々な方々の話を聴いたりすることができます。様々な視点から物事を見ることの大切さを実感してもらいたいと思います。

☆ 自分をつくる楽校 in さんべ

9月20日(土)～21日(日)

6月から、月一回のペースで行っている「自分をつくる楽校」では、社会の第一線で活躍する若手社会人の皆さんや同世代の仲間と語り合い、社会には多様な選択肢があることを知り、自分を生かした将来像を描ききっかけづくりをしています。自分をつくる楽校は、次の3点を目的としています。

- ・学校で取り組んでいる勉強が、どのように仕事や社会生活で役に立つのか理解すること。
- ・社会には多様な選択肢があることを知り、自分を生かした将来像を描くこと。
- ・「将来になりたい自分」を実現するために、明日できることから実践していくこと。

実際、将来に対する不安を感じている高校生は、少なくありません。将来について考えるとき、自分自身と向き合うことが大切だと言います。しかし、自分一人だけで考えていくことには限界があります。他の人の意見や考えなどを聴くことで、自分の考えが広がったり、自分の将来を考えるきっかけを得ることがあります。対話を通して、社会の多様な選択肢を知り、将来に対する見通しを持ち、前向きに学校生活を送る。そのために、自分をつくる楽校の講師陣がサポートしてくれます。

参加した高校生に対するアンケートより	肯定的な反応 (%)		
	事前	⇒	事後
質問⑤「私は、 <u>自分自身</u> についてよく理解している」	57.9	⇒	89.5
質問⑥「私は、自分自身の <u>将来の見通し</u> を持っている」	52.6	⇒	94.7
質問⑨「私は、 <u>地域や社会</u> における課題に目を向けている」	52.6	⇒	89.5

質問⑤に関して、「自分の価値観」について、考えを深める活動をしました
 質問⑥に関して、「なりたい大人」について、考えを深める活動をしました
 いずれも、目的にしていたことに対して、肯定的な反応を示してくれたことがわかります
 質問⑨に関して、社会人の方と具体的に「社会のこと」や「将来のこと」について話をするにより、肯定的な反応が増加したのではないかと考えています

参加した生徒の感想より

- ・今までぼんやりとしか考えていなかった自分の将来のことに対して、真剣に向き合うことができました。特に2日目の「将来を考える」では、不確定だった自分の先のことが少しずつでも形になりました。今後もこのような活動があれば、ぜひ、参加して将来設計への一歩にしたいです。
- ・社会人の方々とはとてもフレンドリーで、とても話しやすかったです。これからの進路について悩んでいましたが、社会人の方々には、自分の話をよく聞いて、自分の進路について一緒に考えてくれました。そして、自分では気が付かなかったことを助言していただき、とても助かりました。アラレの皆さんのように、カッコいい大人になりたいと思いました。機会があれば、また参加したいです。